

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業補助金		
担当所属	農業振興課	連絡先	092-332-2087

【事務事業基本情報】

区分	⑤その他の事業補助（負担金的）		
該当規等	野菜生産出荷安定法 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実施要領 他		
基本目標	基本目標7__地域資源を生かした産業創出のまちづくり		
政策	政策1__農林水産業の振興		
施策	施策①__農業生産基盤を整備し、農産物の低コスト化を推進する		
補助期間	令和2年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】</p> <p>野菜生産出荷安定法に基づき、対象となる野菜の出荷機関を通じた販売価格が、過去の平均価格から算出された一定の基準額を下回った場合、その差額を補填することにより、野菜生産農家の経営の安定を図り、野菜の需給及び価格の安定に資するために行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p> <p>【対象事業】</p> <p>対象野菜の平均販売価格が保証基準額を下回った場合に備えた、財源造成。</p> <p>【対象者】</p> <p>公益社団法人 ふくおか園芸農業振興協会（受益者 加入した農業者等）</p>	<p>① ふくおか園芸農業振興協会の財源造成額（市負担分）</p>

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
特定野菜等供給産地育成価格差補給事業実施要領に基づく。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① 円	0	0

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	0	9,931,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題
野菜類の計画的生産と調整出荷を強化し、その生産の安定的拡大を図るため、対象野菜の市場価格が一定価格を下回った場合、その差額につき交付金を交付する事業を行うことで、集団産地の育成と共同販売体制を確立して、野菜生産農家の経営安定を図る。
現状の周辺環境・課題
同左
今後の予想される周辺環境・課題
昨今の異常気象による不作等で販売価格が減少する可能性があり、農家の安定した生産を支援するために、資金を造成しておく必要がある。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等
対象野菜生産農家の経営安定を図り、新鮮な野菜の安定供給産地を育成する。